

FUJISAN NETWORK

News

ふじさんネットワーク
平成30年度総会・講演会を開催

平成30年度のふじさんネットワーク総会が6月9日(土)に沼津市立図書館で開催されました。当日の出席者は委任状も含めて158団体。正会員の過半数を超えたため総会は有効に成立しました。議長には増澤武弘会長が選出され、議案では平成29年度の事業報告、収支決算等のすべてが承認されました。その後、富士山エコレンジャー・エコサポーターの登録式が行われ、新しい会員に登録証を交付。講演会では、富士山



ふじさんネットワーク総会で新たに登録された富士山エコレンジャーとエコサポーター。今年度はエコレンジャー5人、エコサポーター6名がメンバーに加わりました。



総会の後に行われた講演会。増澤会長が講師として「未来の富士山を守るための世界複合遺産」をテーマに語りました。

「憲章20周年と富士山世界文化遺産5周年を記念して、増澤会長が「未来の富士山を守るための世界複合遺産」という演題で来場者に語りかけました。その中で増澤会長は「富士山の25の構成資産を守っていくためには、複合遺産の考え方が必要不可欠で、自然を守ることが文化を守ることであり、自然環境が文化を形成する」と訴え、ふじさんネットワークの活動にさらなる期待を寄せていました。

FUJISAN NETWORK

Report

富士山をまるごとキレイに
富士山ごみ減量大作戦！



6月23日に行われた「富士山ごみ減量大作戦」。富士山こどもの国に集合した約60人のボランティアが周辺の道路や森林に捨てられたごみを熱心に拾いました。

今年も6月と10月に「富士山ごみ減量大作戦」が行われました。主催は静岡県、富士市(10月は裾野市)、静岡第一テレビ24時間テレビチャリティ委員会、ふじさんネットワークで、公募されたボランティア約60人が国道469号線沿いや森林内に不法投棄されたごみを丁寧に拾いました。近年、富士山の山麓周辺道路沿いでは、ポイ捨てされたごみが富士山の美観とイメージを損ねていますが、平成18年から始まった「富士山



大きなごみはもちろん、小さなごみも見逃しません。



ごみ減量大作戦の様子は道行くドライバーや観光客へのアピールにもなります。

ごみ減量大作戦」によって状況は変わりつつあります。これまでの活動回数は25回を数え、参加者は延べ1667人、累計ごみ回収量は11990kgにおよびます。この取り組みは富士山周辺のごみを減らすことが第一の目的ですが、参加ボランティアの環境保全意識を高揚する効果も期待できるため、ふじさんネットワークでは今後も継続的に作戦を実施していく予定です。次回は、2月に富士宮市で開催します。